

保育者養成教育における早期体験教育・初年次教育への ICT 活用の検討

Research on the Use of ICT for Early Exposure and First Year Education Practices in Nursery Teacher Training Education

中原 大介^{*1}, 坂本 毅啓^{*2}, 佐藤 貴之^{*2}

Daisuke NAKAHARA^{*1}, Takeharu SAKAMOTO^{*2}, Takayuki SATO^{*2}

^{*1} 福山平成大学

^{*1}Fukuyama Heisei University

^{*2} 北九州市立大学

^{*2}The University of Kitakyushu

Email: nakahara@heisei-u.ac.jp

あらまし：これまで筆者達は保育者養成教育において模擬保育への ICT 活用を検討してきた。本稿では保育者養成課程における初学者に対し、これまで開発してきた教材が早期体験学習・初年次教育にも活用できるかどうか検討する。

キーワード：保育者養成教育，初学者，早期体験学習，ICT 活用

1. はじめに

これまで筆者らは、保育者養成教育における模擬保育に活用できる動画を中心とした教材開発を行ってきた⁽¹⁾。

近年、保育士不足は大きな問題として社会的に取り上げられ、養成校が担う現場への人材輩出の責は重くなっている。一方で、モチベーションの低い入学者の学業不振や現場とのミスマッチによる早期退職など、様々な問題も見られる。

そこで、学生のモチベーション維持や現場理解を深める為、現場実習の前段階として、「見学実習」や「体験実習」を実施することで、「早期体験教育」に取り組む養成校も増加している。本研究では、保育者養成教育における早期体験教育や初年次教育への ICT 活用の可能性を検討する。

2. 保育者養成教育における早期体験学習，初年次教育

保育士養成課程では、現場実習の実施は厚生労働省の「保育実習実施基準」で「保育実習を行う時期は、原則として、修業年限が 2 年の指定保育士養成施設については第 2 学年の期間内とし、修業年限が 3 年以上の指定保育士養成施設については第 3 学年以降の期間内とする。」とされている⁽²⁾。その為、早期の実施は困難である。そこで、養成校によって違いはあるが、「体験実習」等を実施し、現場実習以外に保育現場と関わる機会を増やす様に努力している。

医学教育系では早期体験学習が早くから導入されており、早期体験学習は入学後早期の段階で、現場での直接的な体験を通し、動機付けや使命感を体得させること等を目的としたカリキュラム改善の試みであると文部科学省は定義している⁽³⁾。また、高等教育機関における初年次教育においても、「学問，進路選択に対する動機・方向付け」をねらいの一つと

して掲げている⁽⁴⁾。同様に保育者養成教育においても、専門職としての質の向上や現場の人材不足から、早期の進路選択への意欲向上や学習意欲向上への試みは大きな課題となっている。

保育者養成教育において、早期体験教育や初年次教育に期待する効果として『「保育者になりたいという意欲」』『基本的な生活習慣・マナー』『基本的な読み書き能力』を高めたり⁽⁵⁾、「学習，実習への動機付けを高める役割」⁽⁶⁾などが掲げられている。さらに、求められる保育者の専門性として、「自ら学ぶ」「実践を省察できる」「同僚性」などが挙げられている⁽⁷⁾。

3. 初学者による模擬保育評価の実施

初学者が上級生の模擬保育を視聴し、評価することによって、学習者がロールモデルを構築し、自身の学習への動機付けを高める効果があるかどうか、平成 29 年度に養成校に入学した学生を初学者として設定し、視聴・評価を実施した。

3.1 本教材の概要

これまで作成してきた教材は模擬保育を撮影し、Web 上で学生が撮影した動画を視聴し、評価を実施するものである。事前に指導案を作成し、授業「教職実践演習」(4 年生配当)内でカメラを三台設置し、①保育者役、②子ども役、③保育者目線カメラから同時に模擬保育の様子を撮影した⁽⁸⁾。Web 上には 10 分に編集した動画をアップロードしている。

3.2 評価の実施状況

評価者は、総数 10 名であった。Web 上での評価を行った学生は 10 名、実施後アンケートの提出があった学生は 9 名、アンケート終了後に聞き取り調査を実施した学生は 6 名であった。

3.3 結果

Web 上での評価実施後の聞き取り調査においては以下の項目について質問を行った。

- ①本教材を活用することで、模擬保育の様子を具体的にイメージできたか。
- ②はじめて保育を学ぶ学生にとって、本教材は有用であると考えたか。
- ③この様な教材を活用してみたいと考えるか。

教材を活用することで、「先生役が（子ども役）一人ひとりに目を向けている様子がわかり、参考になった.」、「言葉で（模擬保育に関する）説明を受けるよりも、映像がある方がイメージしやすかった.」というように模擬保育のイメージは持ちやすくなったと考えられる。また、はじめて模擬保育の実践を見た学生にとっても、「本教材を使用して、模擬保育を行うのは（理解が進み）良いと思う.」というような意見があった。教材の活用については、概ね肯定的な評価が多く「他の模擬保育のバリエーションがあっても良い.」という意見があった。

他の感想の中で、模擬保育での絵本の読み聞かせ場面に対する指摘があった。「先生役の視線が絵本ばかりを見ている.」という感想が、聞き取り及び模擬保育評価の自由記述双方に含まれていた。このことは前回の調査に無かった指摘点であった。

4. 考察

入学間もない学生達に4年生が実施した模擬保育を視聴、評価させる事は、初学者自身の学習イメージを高め、見通しを持たせることが分かった。また、将来の学習者としてのロールモデルの構築にも一定寄与すると考えられる。

しかしながら、絵本の読み聞かせ場面において「絵本ばかりを見ている」という指摘は前年度4年生が同様の評価を実施した際には見あたらず、初学者である1年生が初めて指摘をした。初学者が「気付いた」内容は保育者としての基本ともいえる項目であった。学生が気付いた理由としては、「先生役は子ども達（役）に対し目線に気を配る必要がある」ことは基本的な事柄であり、初学者でもイメージしやすく、指摘しやすかったからだと考えられる。

他方、現場実習も終え、卒業を間近に控えた4年生からこの指摘がなかったことについて、既に現場経験があるが故に「慣れてしまっている.」「絵本を読むことに必死になってしまい、視線を向けることが経験上難しい事を知っている.」などといった理由が推測される。

5. おわりに

本教材を「模擬的な早期体験学習」や「初年次教育」としての活用を検討する事で、新たな「気付き」を創出する学習プログラムを提供できる可能性があることがわかった。保育者養成教育において、初学者のモチベーションの維持や現場理解には基礎技能のみならず、「自ら学ぶ姿勢」の獲得が必要となる。その為には自身の「気づき」を他者との共有によって再確認する事が必要である。ICTを活用した本教

材は時間や距離を超えて、他者との「気付き」を共有することを可能とする。

初年次教育へ活用することで、初学者に対してはロールモデルの構築や自身の学習に対しての見通しを持つことができる。一方で経験者にとっては、自身が慣れによって見落としがちな視点に関する「気付き」が喚起される。また、初学者は自身の「気付き」の正しさを改めて理解することができる。但し、そこには専門家が介在し、適切な指導を行うことが必要となる。そこで、本教材を活用した以下のような学習モデルが想定される。

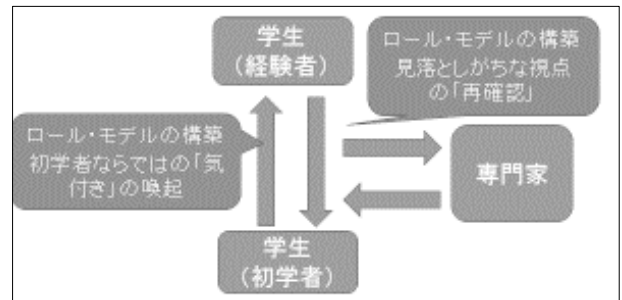


図1 本教材を活用した「気付き」の学習モデル

今後、本モデルを実証する為の試みを続け、さらに今回得ることのできた初学者ならではのシステムへの意見を検討し、システム面でのさらなる改善を課題としたい。

謝辞

本研究はJSPS 科研費 26330403 の助成を受けたものである。

参考文献

- (1) 中原大介, 坂本毅啓, 佐藤貴之: “模擬保育への ICT 活用とその評価について”, 日本保育者養成教育学会第 1 回研究大会 プログラム・抄録集, p.38 (2017)
- (2) 厚生労働省: “指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について”, <http://www.mhlw.go.jp/file/06-seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000108972.pdf> 2017/05/29
- (3) 文部科学省: “平成 7 年度 我が国の文教施策”, http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpad199501_2_141.html 2017/05/29
- (4) 文部科学省: “大学における教育内容等の改革状況について (平成 26 年度)”, http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigaku/04052801/1380019.htm 2017/06/29
- (5) 上田敏丈, 富田昌平: “保育者養成校における入学前・初年次教育の現状に関する調査”, 中国学園紀要, 第 9 巻, pp.63-72(2010)
- (6) 中原大介: “保育体験実習が学生の学習意欲に及ぼす影響についての一考察”, 創発, 第 4 巻, pp.95-106(2006)
- (7) 全国保育士養成協議会専門委員会: “保育者の専門性についての調査 (第 2 報)”, http://www.hoyokyo.or.jp/profile/senmon/seminarreport_26.pdf 2017/05/29
- (8) 中原大介, 坂本毅啓, 佐藤貴之: “保育者養成教育における模擬保育用動画教材の形成的評価”, 第 41 回教育システム情報学会全国大会講演論文集, pp.317-318 (2016)